

## 安全データシート (SDS)

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名) : VCインク黒 (補充用)

供給者の会社名 : 株式会社ツキネコ

住所 : 東京都千代田区外神田5-1-5末広JFビル5F

担当部門 : 開発部

電話番号 : 03-3834-1080 FAX 番号 : 03-3834-1050

推奨用途 : スタンプインク

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理化学的危険性 :	引火性液体	: 区分3
健康に対する有害性 :	急性毒性 (経口)	: 区分外
	急性毒性 (経皮)	: 区分外
	急性毒性 (吸入: 気体)	: 分類できない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	: 分類できない
	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	: 分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分外
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分2B
	呼吸器感作性	: 区分外
	皮膚感作性	: 区分1
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 区分1B
	生殖毒性・授乳影響	: 分類できない
環境に対する有害性 :	特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	: 区分1 (中枢神経系、血液系、腎臓、肝臓)
	特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	: 区分1 (血液系、精巣)
	誤えん有害性	: 分類できない
環境に対する有害性 :	水生環境有害性・急性	: 分類できない
	水生環境有害性・慢性	: 分類できない

#### ラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

引火性液体及び蒸気

眼刺激

アレルギー皮膚反応を起こすおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

中枢神経系、血液系、腎臓、肝臓の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による血液系、精巣の障害

注意書き：

**【安全対策】**

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を設置しアースをとること。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

**【応急措置】**

皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。

皮膚を水と石鹼で洗うこと。

火災の場合：消火するために泡（アルコールム）、粉末、大量の水、二酸化炭素を使用すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察、手当を受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察、手当てを受けること。  
気分が悪い時は医師の診察、手当てを受けること。

**【保管】**

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
施錠して保管すること。

**【廃棄】**

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有量 (%)	C A S 番号	化審法	P R T R 法	安衛法
油溶性染料	15-25	登録済み	登録済み	該当せず	該当せず
エチレングリコールモノエチルエーテル	10-20	110-80-5	2-411	1-57	該当
脂肪酸類	10-20	登録済み	登録済み	該当せず	該当せず
界面活性剤	5.0-10	登録済み	登録済み	該当せず	該当せず
ポリアルキレングリコール	40-50	登録済み	登録済み	該当せず	該当せず
ジフェニルアミン	<0.5	122-39-4	2-318	1-203	該当
2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール	<0.2	128-37-0	3-540	1-207	該当

### 4. 応急措置

吸入した場合：

直ちに医療措置を受ける手配をする。  
 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
 体を毛布などでおおい、保温して安静を保つ。  
 呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。  
 呼吸が弱い場合は人工呼吸を行う。  
 呼吸が止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。  
 付き添いをおき、一人にしてはならない。  
 意識のない被災者には何も飲み物を与えてはならない。  
 汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物質にふれないよう手袋を使用するなど注意する。  
 気分が悪いときは、医師に連絡する。  
 すぐには何も症状が認められなくても、必ず医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。  
 製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。石鹸を使ってよく落とす。  
 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける手配をす

	る。
	皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受ける。
眼に入った場合：	水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 直ちに医師の診断、手当てを受けること。 すぐに痛みがなく視力に影響がなくても障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診断を受ける。 眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：	直ちに医師に連絡する。水でよく口の中を洗浄する。 被災者に意識がない場合には、口から物を与えたり、吐かせようとしたりしてはいけない。 嘔吐が自然に起きた時は、気道への吸入が起きないように体を傾斜させる。 酒類、医薬、お茶又はコーヒー等の興奮剤を与えてはならない。 体を毛布等でおおい、保温して安静に保つ。 付き添いをおき、一人にしてはならない。 呼吸が止まっている場合には、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で、人工呼吸を行うが、その前に口の中に残っているものをぬぐったりしてよく除去する。
急性症状及び遅発性症状	眼・鼻・喉の刺激。眼のかすみ。咳、し眠、頭痛、息切れ、咽頭痛、脱力感、
の最も重要な徴候症状：	腹痛、吐き気、嘔吐。遅発性症状：中核神経系の抑制。
応急措置をする者の	この製品は揮発性なので、蒸気を吸入しないように注意する。
保護：	救助者は保護手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。
医師に対する特別な注意	本製品のガスを吸入したもの、飲み込んだものは安静にさせ、その経過を観察
事項：	しなければならない。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤：	泡（アルコールム）、粉末、二酸化炭素、砂
使ってはならない消火剤：	棒状の水
火災時の措置に関する	燃焼の際は黒煙、一酸化炭素等が生成される。
特有の危険有害性：	
特有の消火方法：	消火作業は風上から行う。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 関係者以外は安全な場所に退去させる。 周囲の設備等の輻射熱による温度上昇を防止するため、水噴霧により周辺を

冷却する。

消火のための薬剤等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないような適切な措置を行う。

燃焼源の供給を速やかに止める。

未燃焼で漏出したガスは、水噴霧又はスチームによって拡散させ、爆発を防止する。

消火を行う者の保護：

消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

区域より退避させ、爆発の危険性に応じ、離れた場所から消火すること。

消火作業の際は、風上から行き、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸用保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

保護具及び緊急時措置： 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

多量の場合、人を安全に退避させる。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

作業の際には保護具（8. ばく露防止及び保護処置記載）を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

こぼれた場所は滑りやすいため注意する。

環境に対する注意事項： 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。  
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

悪臭又は刺激臭が強いので、周辺住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。

漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

封じ込め及び浄化方法及び器材： 火気、換気等に十分に注意して、蒸発、拡散させる。

少量の場合には乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる容器に回収する。

大量の場合は盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

回収後の少量の残留物はウエス、雑巾等でよく拭き取る。

二次災害防止策： 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

火花を発生しない安全な用具を使用する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

**【取扱い】**

- 技術的対策： 『8. ばく露防止及び保護処置』に記載の装置又は設備を設置する。  
(局所排気、全体換気等) 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。  
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。  
静電気対策のために、装置、機器等の設置を確実に行う等予防措置を講ずること。
- 安全取扱い注意事項： 取扱い場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
取扱う場合は、局所排気装置又はプッシュプル型換気装置のある場所で取り扱う。  
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。  
発散した蒸気を吸い込まないようにする。  
屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。  
眼、皮膚、衣類に付けないこと。  
火気厳禁  
周辺での高温物、スパーク、下記の使用を禁止する。  
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源からおざけること。－禁煙  
加熱したり、摩擦、衝撃を与えない。  
容器及び受器を接地すること。  
工具は火花防止型のものを用いる。  
取扱いの都度、容器を密閉する。  
容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
- 接触回避： 『10.安定性及び反応性』を参照
- 衛生対策： 休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。  
指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。  
保護手袋及び保護眼鏡・保護面を着用する。

**【保管】**

- 安全な保管条件： 保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。  
保管場所の床は、床面に水が浸入・浸透しない構造とする。  
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。  
『10.安定性及び反応性』混載危険物質との保管は避ける。  
通風を抑止、蒸気が滞留しないようにする。  
換気のよい場所で容器を密閉し保管する。  
日光から遮断すること。

熱・火花・裸火・高温のような着火源から遠ざけること。

食品や飲料から離して保管する。

屋内貯蔵所を原則とする。

安全な容器包装材料： 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度： エチレングリコールモノエチルエーテル：5ppm

許容濃度： エチレングリコールモノエチルエーテル：日本産業衛生学会 5ppm 18mg/m<sup>3</sup>  
ACGIH (2015年版) TLV-TWA 5ppm

設備対策： 屋内作業場での使用はできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置、プッシュプル型換気装置を使用する。

### 保護具

呼吸用保護具： 防毒マスク（有機ガス用）、送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器

手の保護具： 保護手袋

眼の保護具： 保護眼鏡（ゴーグル型）

皮膚及び身体の一部の保護具： 保護長靴（帯電防止用、耐油用）、保護服（静電気防止用）、保護前掛け

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

物理状态：液体

色：黒

臭い：わずかな特異臭

融点・凝固点：データなし

沸点：データなし

可燃性：あり

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：データなし

引火点：43°C以上

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

溶解度：水に不溶。アルコール系溶剤に易溶

n-オクタノール／水分配係数（log 値）：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び／又は相対密度：データなし

相対ガス密度：データなし

粒子特性：データなし

その他データ：なし

#### 10. 安定性及び反応性

反応性：なし

化学的安定性：通常の取扱いにおいて安定

危険有害反応可能性：情報なし

避けるべき条件：高温（40℃以上）で長期間保存しない。

混触危険物質：情報なし

危険有害な分解生成物：情報なし

#### 11. 有害性情報

急性毒性（経口）	データなし
急性毒性（経皮）	データなし
急性毒性（吸入：気体）	データなし
急性毒性（吸入：蒸気）	データなし
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	データなし
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分2B
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	区分1B
生殖毒性・授乳影響	データなし
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	データなし
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	区分1（中枢神経系、血液系、腎臓、肝臓）
誤えん有害性	区分1（血液系、精巣）

#### 12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性（短期/急性）	データなし
	水生環境有害性（長期/慢性）	データなし
残留性・分解性		データなし
生態蓄積性		データなし



土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 1 4. 輸送上の注意

## 国際規制

国連番号	1210
品名	印刷用インク
国連分類	クラス 3 (引火性液体)
容器等級	III
海上輸送	IMO の規定に従う。
航空輸送	ICAO/IATA の規定に従う。
陸上輸送	ADR、RID 等、当事国の規則に従う。

## 国内規制

海上輸送	船舶安全法及び港則法の規則に従う。
航空輸送	航空法の規則に従う。
陸上輸送	消防法 危険物第 4 類第 2 石油類 (非水溶性) に準ずる

## 1 5. 適用法令

消防法	消防法 危険物第 4 類第 2 石油類 (非水溶性) に準ずる
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物：エチレングリコールモノエチルエーテル 名称等を通知すべき危険物及び有害物：エチレングリコールモノエチルエーテル、ジフェニルアミン、2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール 第 2 種有機溶剤
PRTR 法	エチレングリコールモノエチルエーテル、ジフェニルアミン、2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール
毒物及び劇物取締法	該当せず

## 16. その他の情報

記載内容の取扱い：本記載の内容は現時点で弊社が入手した情報などに基づき作成されたものであり、新しい知見に基づき改訂されることがあります。また、注意事項は通常を取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、御利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

[注意] 本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。